

黒潮町歳入歳出決算状況

※それぞれの数値は集計後端数処理をしているため、合計値と合わない場合があります。

【お問い合わせ】本庁 総務課 財務係 ☎43-2112

一般会計（繰越明許を含む）

◆歳入決算（収入）

令和元年度の歳入総額は97億2千921万円、前年度比11%の増となりました。増額の主な要因は、城山団地の宅地分譲による財産収入の大幅な増、令和元年度に創設された森林環境譲与税が新しく入ってきたことによるものです。

歳入の構成は、普通交付税と特別交付税を合わせた地方交付税が全体の42.1%、町税を含めた自主財源が全体の29.4%となっており、国や県の財政支援に依存した状況が続いています。

また、地方債は過疎対策事業債（3億2千790万円）、旧合併特例事業債（1億6千510万円）、緊急防災・減災事業債（9千190万円）、災害復旧事業債（530万円）などの地方交付税措置の高い有利債の借入を行い、後年度の財政負担をできるだけ少なくしながら、町に必要な事業を実施しています。

◆歳出決算（支出）

歳出総額は95億3千869万円、前年度比9.1%の増となりました。これは、台風や豪雨により生じた被害への災害復旧事業費が大幅に増となったことによるものです。

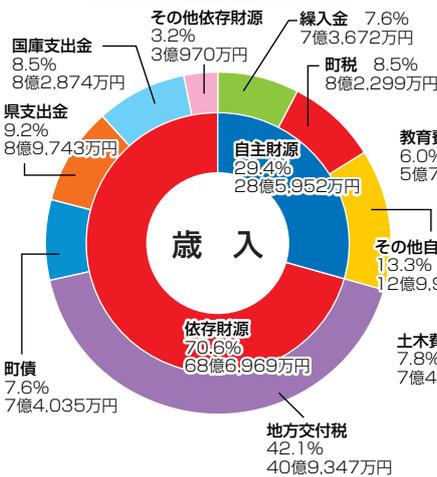
目的別での構成を見ると、ふるさと納税業務拡大や国・県・町選挙の実施により、総務費が24.2%（23億1千13万円）、保育所運営などの子育て支援や高齢者福祉、障がい者福祉の民生費が23.6%（22億4千996万円）、これまでに借入を行った事業に対する元利償還により、公債費は14.2%（13億5千393万円）、木造住宅耐震改修事業や避難所環境整備事業などにより、消防費が8.5%（8億1,046万円）となっています。

性質別では、人件費・扶助費・公債費を合わせた義務的経費が全体の36.2%、普通建設事業と災害復旧事業を合わせた投資的経費が17.6%となっています。

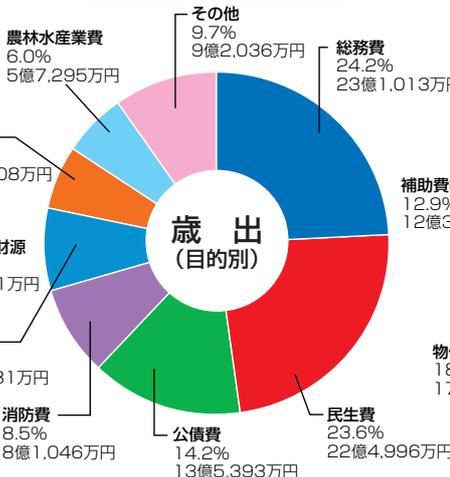
一般会計決算の状況

	歳入	歳出	決算収支
一般会計（繰越明許含む）	97億2,921万円	95億3,869万円	1億9,052万円

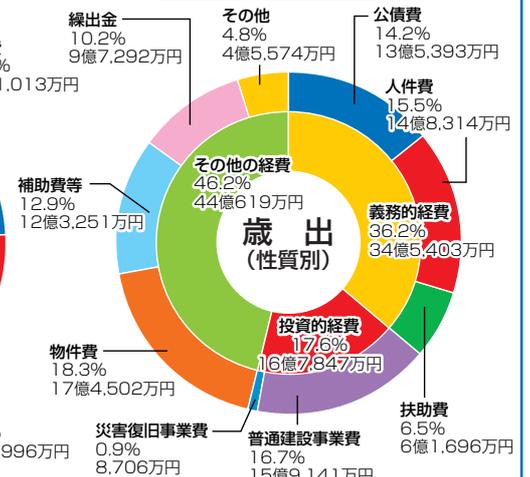
歳入



歳出（目的別）



歳出（性質別）



一般会計決算額

歳入(収入)一覧

	決算額	1人当たり
地方交付税	40億9,347万円	37万1,897円
県支出金	8億9,743万円	8万1,533円
国庫支出金	8億2,874万円	7万5,292円
町税	8億2,299万円	7万4,770円
町債	7億4,035万円	6万7,262円
繰入金	7億3,672万円	6万6,932円
その他	16億949万円	14万6,226円
合計	97億2,921万円	88万3,911円

※1人当たり

決算額を令和2年3月31日の町人口11,007人で割った金額。



歳出(支出)一覧

【目的別】

	決算額	1人当たり
総務費	23億1,013万円	20万9,878円
民生費	22億4,996万円	20万4,412円
公債費	13億5,393万円	12万3,006円
消防費	8億1,046万円	7万3,631円
土木費	7億4,781万円	6万7,939円
教育費	5億7,308万円	5万2,065円
農林水産業費	5億7,295万円	5万2,054円
その他	9億2,036万円	8万3,617円
合計	95億3,869万円	86万6,602円

【性質別】

	決算額	1人当たり
物件費	17億4,502万円	15万8,538円
普通建設事業費	15億9,141万円	14万4,582円
人件費	14億8,314万円	13万4,745円
公債費	13億5,393万円	12万3,006円
補助費等	12億3,251万円	11万1,975円
繰出金	9億7,292万円	8万8,391円
扶助費	6億1,696万円	5万6,051円
その他	5億4,279万円	4万9,313円
合計	95億3,869万円	86万6,602円

令和元年度の主な事業とその決算額

総務費

国土調査事業	1億2,878万円
定住促進住宅整備事業	8,624万円
集落活動センター事業	1,793万円
参議院議員選挙	1,366万円
黒潮町議会議員選挙	1,145万円

民生費

障がい者自立支援給付費	3億9,838万円
あったかふれあいセンター事業	4,171万円
在宅子育て応援事業	2,062万円
ひとり親家庭医療費助成事業	559万円

衛生費

予防接種事業	2,321万円
義務教育期間の医療費無料化事業	1,418万円
乳幼児医療費助成事業	1,169万円
合併浄化槽設置整備事業	1,161万円

労働費

地域雇用促進事業	5,732万円
----------	---------

農林水産業費

園芸用ハウス整備事業	2,766万円
松くい虫防除対策事業	1,096万円
黒潮町カツオ一本釣り漁船緊急支援事業	813万円

商工費

プレミアム付商品券事業	3,163万円
スポーツ活用型地域づくり事業	1,480万円

土木費

都市防災総合推進事業	1億3,054万円
高規格道路整備事業	2,504万円

消防費

木造住宅耐震改修事業	2億6,048万円
避難道等整備事業	9,097万円
要安全確認計画記載建築物耐震事業	4,430万円

教育費

小・中学校校舎空調整備事業	6,808万円
ふるさとキャリア教育	290万円

災害復旧費

公共土木施設災害復旧事業	1,917万円
--------------	---------

特定の事業を行うための特別会計は、公営企業会計の水道事業を含めて12個の会計があります。

歳入歳出決算の状況は次の表のとおりです。

企業会計の水道事業を除いた特別会計の歳入総額は55億8千133万円、歳出総額は54億1千442万円で歳入歳出の差引総額は1億6千691万円となっています。

※水道事業の不足額は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額と、損益勘定留保資金で補てんされています。

特別会計決算の状況

		歳入	歳出	決算収支	
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	657万円	230万円	427万円	
	宮川奨学資金	3,494万円	3,263万円	232万円	
	給与等集中処理	14億5,301万円	14億5,301万円	0円	
	国民健康保険事業	17億6,404万円	17億1,102万円	5,302万円	
	国民健康保険直診	4,934万円	4,934万円	0円	
	介護保険事業	16億9,447万円	16億3,066万円	6,381万円	
	介護サービス事業	1,658万円	1,658万円	0円	
	農業集落排水事業	3,674万円	3,615万円	58万円	
	漁業集落排水事業	506万円	504万円	2万円	
	後期高齢者医療保険事業	2億1,440万円	2億912万円	527万円	
	情報センター事業	2億6,857万円	2億6,856万円	1万円	
	水道事業	収益的収支	2億7,275万円	2億5,513万円	1,762万円
		資本的収支	9,505万円	1億7,318万円	▲7,813万円

財政健全化法による財政指標について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、令和元年度決算に基づく4つの健全化判断比率と公営企業の資金不足比率を算出しました。この指標が基準以上となる場合には財政健全化計画などを策定することが義務付けられています。黒潮町ではすべての数値が基準値を下回っています。

	令和元年度 決算	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	－	15.00%	20.0%
連結実質赤字比率	－	20.00%	30.0%
実質公債費比率	7.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	－	350.0%	

	資金不足 比率	経営健全化 基準
水道事業会計	－	20.0%
農業集落排水事業会計	－	20.0%
漁業集落排水事業会計	－	20.0%

- 実質赤字比率 普通会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
- 連結実質赤字比率 全会計を対象とした実質赤字額(または資金不足額)の標準財政規模に対する比率
- 実質公債費比率 普通会計が負担する起債の元利償還金・準元利償還金の標準財政規模に対する比率
- 将来負担比率 普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
- 資金不足比率 公営企業の資金不足額の事業規模に対する比率

※標準財政規模とは、標準的な状態で通常収入される見込みの一般財源の規模を言います。

基金現在高の状況について

「基金」とは特定の目的のために資金を積み立て、財産の維持や事業費の財源などに充てるために準備する貯金のようなものです。年度間の財源調整を行うための「財政調整基金」、地方債の償還を計画的に行うための「減債基金」、その他特定の目的のために設置される「その他特定目的基金」があります。

令和元年度は、公営住宅建設や松くい虫防除などへの財源へ充当するための取り崩しを行ったため、下記の表のとおりとなりました。今後も計画的な財政運営を行うため、確実かつ効率的な運用を行い、適正な管理・運営に努めてまいります。

森林環境譲与税の活用

「森林環境譲与税」は温室効果ガス排出削減目標の達成や、災害防止を図るための森林整備などに必要な地方財源を安定的に確保する観点から令和元年度に創設

されました。

令和元年度の交付額は1千58万4千円となり、これを原資として市野瀬地区の森林整備を推進することを目的とする森林管理システム意向調査・境界測量委託業務や、松くい虫による入野松原への被害防止対策事業などを実施しました。

今後も引き続き住民の皆さんが安心して暮らすことのできる森林整備や、新たな雇用創出を目的とした取組を進めてまいります。

基金の種類	令和元年度末現在高(①)	平成30年度末現在高(②)	増減額(① - ②)	増減の主な理由
財政調整基金	865,879千円	849,245千円	16,634千円	
減債基金	552,334千円	750,941千円	▲198,607千円	公債費の財源充当
その他特定目的基金(15種類)	3,616,506千円	3,757,104千円	▲140,598千円	自然環境の保全などの財源充当

※上記の金額は普通会計に属する積立基金のみの累計額です。

まちのできごと



受賞した巨大力ボチャ

なにか大きくなると思わなかった。育てて良かった」と受賞の喜びを話しました。

カボチャを育てた同校3年生の伊与木斗真くんは、「最初はこんなに大きくなると思わなかった。育てて良かった」と受賞の喜びを話しました。



表彰される子どもたち

拳ノ川小学校「がいにビックリしたまげた大会」でビックリ大賞受賞
拳ノ川小学校の3・4年生が育てた巨大カボチャが「第32回がいにビックリたまげた大会」で最重量のカボチャに贈られるビックリ大賞を受賞しました。



Tシャツを着た部員と松田取締役

を着る人も増やして、練習や遠征など、色んなところでアピールしていきたい」と話しました。

移動着を受け取った同校1年生の喜多あすかさんは、「色やエンブレムが可愛くて気に入った。部員の人数を増やし、このTシャツ

の半袖のTシャツで、右胸の箇所に同部のエンブレムが、背中には「大高蹴球倶楽部」の文字などがプリントされています。



背中プリント

じいんず工房が大高女子サッカー部に移動着贈呈
(有)じいんず工房大高が9月3日(木)、大方高校女子サッカー部に移動着を提供しました。